

向島ニュータウンまちづくりビジョンで進む 新たな「まちの変化」中間報告会@二の丸北学区 開催報告

1 開催目的・テーマ

向島まちづくり推進会議では、まちづくりの進捗状況や成果、課題について向島5学区全体で話し合い共有するために、小学校体育館で「話し合う集い」を実施してきた。

集いの参加者や話し合うテーマ等が固定化されてきているとの指摘に基づき、身近な学区や街区単位において関心が高いテーマを取り上げることで、新しい住民に参加をしていただく場として中間報告会を開催した。

テーマ 『向島まちづくりビジョンで進む新たな「まちの変化」』

○活動の成果を知っていただくことで、無関心層を関心層に。

○ワーキング個々の活動報告でなく、これまでの成果と夢を語ることで、ビジョンの推進を肌で感じて、参加につながるような説明を行う。

目 的	まちづくりビジョン検討から2年半。この2年半で起きてきた向島のまちの動きや変化を二の丸北学区の住民に知ってもらい、まちづくりビジョンや活動を身近に感じてもらうとともに、取組に参加していただくきっかけの場とする。
日 時	2018年11月3日(土) 午前10時～正午 *9/30開催予定を台風のため延期
場 所	向島ニュータウン 2街区集会所
参加者	約50名(事務局9名を含む) WGへの参加メンバーの他、向島ニュータウンの住民、事業活動、社会活動等を実施されておられる方
内 容	<p>1 開催趣旨の説明</p> <p>向島まちづくりビジョン推進会議委員(3街区G棟)の長谷川氏から、「まちづくりの活動成果を知って欲しい」「中間報告会をまちづくり活動への参加のきっかけとしたい」といった、趣旨説明があった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>2 ビジョン概要と1年半の取組全体像</p> <p>京都市都市総務課 池田課長からビジョン概要、地域計画建築研究所戸田から1年半の取組の全体像が紹介された。その後、4つのテーマごとに関係者から、まちづくりビジョンによって進んでいる成果や実績について報告があった。</p>

2 テーマごとの取組成果や実績

テーマ1 教育レベルが高い，文教のまちに変わりつつあります

－向島秀蓮小中学校の目指す教育方針・教育環境の充実－

京都市向島小中一貫教育校 教育企画推進室の太田室長から，平成31年4月開校の向島秀蓮小中学校の教育方針について報告があった。学校，家庭，地域それぞれの役割や9年間で身につける資質や能力について紹介された。

【質疑応答】

Q 京都教育大学との連携の取組は，どのような内容か。

A 大学と小中学校の先生が連携して授業を行う。例えば，秀蓮体操を考案し，地域と一緒に広げていくなどが考えられる。

Q 向島の周辺からも生徒が来るのか。

A 生徒は，現状の向島地域の子どものみである。



テーマ2 便利で豊かな，賑わいのまちに変わりつつあります

－第4・5駐車場への商業施設（ニトリ）開業予定と駅前の賑わい－

京都市住宅供給公社の生川係長から，第4・5駐車場用地における事業者募集の結果と，新たに誘致されるニトリについて平成31年8月上旬オープンを目指しているとの報告があった。

－向島駅前わいわい元気バザール・向島すまいるマルシェの実施－

主催団体メンバーの神門氏から，向島駅前活性化に向けた取組について報告があった。

【質疑応答】

Q 賑わいづくりのために，ニトリと近商や商店会のコラボレーションが必要ではないか。

A 物理的な環境改善として，ニトリから商店会へ歩きやすい歩行者空間の整備を検討している。また，一緒に活性化に取り組むために，近商，商店会，ニトリ等で構成する事業者組織づくりを検討している。

Q 公社には駅前の活性化として，駐輪場の有効活用を進めて欲しい。

A 駅前駐輪場について，活性化に向けた前提条件の整理を進めている。まずはニトリに係る取組みから進めている。

テーマ3 若者・子育て世代やお年寄りが憩う、やすらぎのまちに変わりつつあります

－向島中央公園の再整備－

京都市都市総務課 池田課長から、向島中央公園の再整備について報告があった。

【質疑応答】

- Q 滝の周辺には藻が浮いているが、子どもの水遊びなどの際に水質に問題はないのか。
- A 中央公園の真ん中のポンプから水を流しているが、現在故障しており、京都市に修理を依頼している。以前は年3,4回掃除が行われていた。現在はあいりん館の職員と公園に係るボランティアが月1回掃除をしている。週1回京都市から1,2名の職員が掃除しているが、十分ではない。京都市には職員増をお願いしたいし、住民も清掃に参加して欲しい。
- Q 中央公園から高架下のルートについて、歩道と自転車専用道路が交差しており危険である。
- A 問題点について公園と側道の担当課につなぐようにする。住まいワーキングのメンバーが住環境パトロールを行っているので、参加して意見を出して欲しい。

テーマ4 多文化が共生する、国際色豊かなまちに変わりつつあります

－向島二の丸小学校跡地への国際的な教育施設の提案内容について－

京都市都市総務課 池田課長から、向島小学校跡地に対する、あしなが育英会からの提案について報告があった。

－インドインターナショナルスクールの開校－

神門氏から、向島学生センターに開校した、インドインターナショナルスクールについて紹介された。



3 意見交換

まちづくりビジョンによる取組で見えてきた成果・まちの変化について、意見交換を行った。

「人口が減っており、市営住宅について若い世代の入居を促進するなどが必要である。」「竹田駅で乗り換えると運賃が割高になってしまう。向島を起点として北大路などへの敬老乗車証が使えるとよい。」等の意見があった。4 まとめ

向島まちづくりビジョン推進会議メンバーの日高氏から、「まちづくり活

動が分譲住宅の資産価値向上につながること」「住民自らがまちづくりに取り組み、参加して、皆さんの声を届けて欲しい」「このチャンスを活かして住んでよかった地域にしていきたい」と、まとめの挨拶があった。



2 参加者アンケート結果（抜粋）

アンケートで今後のまちづくり活動に参加したいと連絡先を記入いただいた6名の方には後日、参加のお礼と今後のワーキングへの参加のお誘いを行なった。

回答数	21 件	
問3: 活動の理解が進んだか	理解できた (28.6%) 少し理解できた (66.7%)	
問4: 参加してよかったか	よかった (85.7%)	
問5: まちづくりの活動に参加したいか	参加したい (47.6%, 10名のうち, 6名連絡先記述あり)	
問6: 関心のあるまちづくりテーマ (複数回答)	子ども・若者・教育 (16.1%) 住環境・公園 (14.3%) 防災 (10.7%) 多文化交流 (3.6%)	商業・賑わい (14.3%) 高齢者・障害者福祉 (16.1%) 防犯 (8.9%) 小中跡地活用 (12.5%)
まちづくりへの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄の延伸 (竹田～向島を地下鉄扱いに), 京都市中心部からも気軽に来易くなると思います。 ・小中学校についての情報が知りたい (今日は聞けてよかったです)。 ・中央公園で子供がよく遊べるようになってほしい (今でもよく利用しています)。 ・市営住宅の耐震化と建て替えについて, 何の説明もなかった。生活の基盤がどうなるかわからないと将来のまちづくりも不安となる。 ・自・自転車等に乗れない高齢者, 障害者, 赤ちゃんのいる世帯等買い物 (スーパー等) に行きにくい人たちのコミュニティバスみたいなのが出来ないか。 ・駅前駐車場の空を有効利用したい (集会室 etc)。 ・今日の参加者を見ていると若い世代が少なかったです。もっと30代・40代の若い人たちにも参加してほしいですね。 	